



義務教育費国庫負担金の削減について

市長 ▼ 税源の確保ができるよう要望している

池田 恵一 議員

問 三位一体改革の中、地方6団体は3兆2,000億円の補助金削減案を提案した。その中には、義務教育費国庫負担金が含まれている。見解を問う。

をきちんとするよう、また地方にも運営上の裁量をくださいとも言わせて頂いている。京丹後市も若い人に賭けるという思いの中で、中国語、韓国語を日本で初めて中学校で教えていきたい。

問 京丹後市における障

害児教育について問う。最近障害児学級への入級を拒むケースが増えていると聞く。また、通常の学級に在籍している、LDやADHDとよばれる学習障害のある子供への対応が緊急かつ重大な課題であると聞くが、状況や対応

はどうなっているのか。**教育長** ▼ 障害児学級に入らない子供が増えているのは事実である。2、3年前から特別支援教育が言われてきた。来年から実施予定、なお、各学校へコーディネーターの配置を検討している。

問 フェスタ飛天について問う。1,300万円の補助金が支出され、他の町のイベントと比べても突出している。

市長 ▼ 他のイベントとも合わせて来年度、検討していきたい。

問 サンカイカン運営について問う。1,800万円の赤字補填、1,500万円の駐車場整備費の執行について、民間業者に対して、赤字については民間業者、黒字については内部留保という条件は行政として適当か。

市長 ▼ 弁護士と相談の結果、執行については見合わせる。



豊作でも課題の多い水田農業



水田農業の振興策と担い手育成について問う

市長 ▼ 農振計画策定に向け協議会を立ち上げる

今度 弘 議員

問 厳しい米情勢が続く中、全国的にも半数の農村集落で担い手不足が生じている。就農者の高齢化は進み、4,000鈔に及ぶ本市の水田農業をどう導くか、又、長期的展望に立った担い手をどう育成されるのか。

市長 ▼ 農振計画の策定に向け協議会を立ち上げ、水田農業の振興策と担い手育成に万全を期す。そして丹後米のブランド化をはかり、流通についても支援体制を確立したい。

問 弥栄病院の医師不足は深刻、この状況が

続く一般的な医療はもとより救急医療にも支障が生じる。医師補充は緊急の課題、今どのような状況か。

市長 ▼ 弥栄病院の医師不足は厳しい状況にある。京大の医局をはじめ府立医大、大阪市大、福井医大、島根医大などにお願ひに上がっており、「協力はする」との返事を頂いている。当面医師確保に努めながら、魅力ある病院を目指し、医療審議会を中心に対応を進めていく。

問 中山市政誕生以来4カ月が経過した。市長自らが各市民局を回り市民をはじめ職員と直に意見交換、また現地を見ての「移動市長室」であった。市民の関心も高く市長自身も



ゴミの減量化を早急に

市長 ▼ 分別指導を徹底する

吉浪 芳郎 議員

問 峰山町クリーンセンターでは平成14年4月1日より旧6町の可燃ゴミ、資源ゴミを一括処理してきた。本年8月の臨時議会においても、焼却炉の整備工事費として2億円近い費用を計上し、可決された。ダイオキ

シン類の発生抑制、削減対策として「ゴミ処理広域計画」に基づき1日平均53トンの可燃ゴミを、昼夜を問わず処理しているため焼却炉のいたみも激しく、市としてゴミの減量化を早急に考えなければならぬと思うが。

市長 ▼ 市としてはゴミステーションにおいて、分別指導を徹底したいと思っている。

問 京丹後市内で不燃物処理場の状況はどのようなになっているか。

生活環境部長 ▼ 本市においては峰山、大宮、網野、久美浜の4力所に最終処分場をもっている。久美浜を除き近年整備を終えたのが峰山、網野である。大宮についてはもつと以前に済ませているが、2重張りシートの方式ではない。久美浜については現在整備中である。処分場を少しでもなく利用するために、リサイクルの徹底を図りたい。

問 本市には市道として大宮町392、峰山町554、弥栄町38

2、丹後町328、網野町515、久美浜町626、合計2,797路線の市道があり、特に未舗装の市道が半数以上をしめている。今後維持管理をどのように考えているか。

市長 ▼ 今日まで通り地域の方々にお世話になり、原材料の支給をさせていた中で、草刈りも含めて協力を願いたいと思っている。

ダイオキシン0を目指す峰山クリーンセンター



夢・自立・感謝 頑張れ



生きる力の教育強化を

市長 ▼ クラブ活動は教育の柱

岡田 修 議員

問 中学校の体育クラブ活動は、生徒の自立や生きる力（目標の設定と達成、礼儀作法、命の大切さ）を身につけさせるのに最適であるが市長の考えは。

市長 ▼ クラブ活動は目標を立ててやりきる力や感謝の気持ちに身に付く。生徒が思い切りできるような環境作りを取り組む。

問 最近の中学生は、競い合わない、しんどいことはしないなどスポーツ離れが目立つ。クラブ活動に関して教育長の考えは。

教育長 ▼ クラブ活動は教育の柱である。

問 クラブ数の減少や顧問の経験不足など多くの課題があるが対応は。

教育長 ▼ 技術だけでなく精神面もしっかり指導している。合同クラブは新しい課題である。今後も充実を図る。

防災強化と情報サービスは

問 学校のクラブでは競技力を上げるのに限界がある。真剣にやりたい生徒には、学校外のクラブが果たす役割が大きい。

教育長 ▼ 中学のクラブは教育活動の一環である。高い水準を求めるには理解している。指導体制が確立しているクラブは、施設利用



台風一過 早期の水上安全条例と防災計画の制定を待つ

問 命の源である水。老朽管の改善が早急に必要だが。

市長 老朽管事故発生箇所を優先的に修復工事を行っている。下水道整備地区では、側溝道路改良等に合わせ関係効率的、効果的に進める。

問 防災計画の備えは。

市長 防災計画の備えは。また行政の責務対応が遅い。

市長 先の議会で1年半と答えた。早急に検討を進め、年内に原案を策定する。

問 防災上、デジタル方式の戸別受信機を各戸配布するの、一つの方法だが。

市長 2010年以降すべてデジタル化に変わる。ブロードバンドとの兼ね合いでどの方法が財政的に得策になるか検討を進めている。

問 巨大スーパーによる超大型店出店計画は、市の小売商業者に大打撃を与える可能性が。対処方法は。

市長 本市への道路事情の悪化やお金が地域の中で循環しない等、全体的な経済、マクロの経済からも由々しきこと。推移を見ながら必要に応じ対応する。

問 商店街の活性化とまちづくりは如何にするのか。

市長 官民連携し工夫を。まちづくり交付金等、商店街活性化を図る仕組みを検討していく。



市長 年内に原案策定緊急時消防本部対応する

松尾 信介 議

防災、実施計画を早急に

問 10月から実施される、小学校卒業までの医療費助成について、50名のお母さん達にアンケートを実施した。その結果、88%の方が窓口で200円を支払えばいい制度(現物支給)を望んでいる。また、70%の方が、申請する

のを忘れそうという結果になった。

忙しいお母さん達への子育て支援として、現物支給にして利用しやすくすべきではないか。

市長 アンケートの結果は重く受け止めなければならぬ。償還払

い(窓口で一旦全額支払うこと)に込められた思い(子育てへの励み)を感じて頂きたい。

問 申請用紙を市民局だけでなく病院の窓口にも置いて頂き、一声声をかけて頂きたい。

市長 学校を通じてお知らせするなど、制度

問 共働きの家庭が増え、保育所の時間延長は充実されてきているが、小学校1年生からの学童保育も整備がいそがれている。

峰山地域では30人の定員に対して56人の申し込みがあり、多くの子ども達が入所出来ず、一人で放課後を過ごす

なくてはならない状況であり、親としては大変心配である。早急に体制をとり、直ちに受け入れるべきではないか。

市長 学童保育を全市域に広げていくことも含めて、次世代検討委員会でも検討していきたい。



おそとで元気に遊ぶ！



市長 償還払いで子育てに励みを感じて頂きたい

平林智江美 議

小学生への医療費助成を現物支給で

の徹底を図りたい。

急がれる峰山学童保育への途中入所

問 医師の確保の問題、今後の市立病院のあり方についての見解は。

助役 大学病院等へ実情を訴え、お願いをしている。また、地域医療を守る使命を果たす上で、中・長期的な病院のあり方を考えなければならぬ。

問 市立病院の経営形態のあり方を検討・議論する必要があると考えるが。

市長 医療審議会の中で、多角的な方面から議論をされると考えている。



地域医療の要 弥栄病院

問 深刻な医師不足の問題を抱え、取り巻く医療環境も非常に厳しい中で、平成16年度の決算見込みは。

市長 単純な推計であるが弥栄病院が3億円、久美浜病院が1億6,000万円程度の赤字が予想されている。

問 医師の確保の問題、今後の市立病院のあり方についての見解は。

助役 大学病院等へ実情を訴え、お願いをしている。また、地域医療を守る使命を果たす上で、中・長期的な病院のあり方を考えなければならぬ。

問 市立病院の経営形態のあり方を検討・議論する必要があると考えるが。

市長 医療審議会の中で、多角的な方面から議論をされると考えている。

問 一般的に自治体には民間的な発想が乏しい、コスト意識が低い

市長 部長をはじめ職員には迷惑をかけているかも知れないが、特段に不便は感じていない。

問 行財政改革を強力に推進してゆ�ために、新庁舎構想を一つの手法として考えることは。

市長 組織、体制の機能分担のあり方を検討する中で、議論が進められるべきだと考えている。



どうなる？ どうなる？ 市立病院

市長 苦しい赤字経営が続く

石河良一郎 議

問 本庁機能を分散させた分庁舎方式を採用しているが、効率的で生産性の高い行財政運営を推進してゆくための課題は。

市長 部長をはじめ職員には迷惑をかけているかも知れないが、特段に不便は感じていない。

問 行財政改革を強力に推進してゆ�ために、新庁舎構想を一つの手法として考えることは。

市長 組織、体制の機能分担のあり方を検討する中で、議論が進められるべきだと考えている。

問 地域振興協議会の進捗状況について問う。

市長 現在委員の選考を行っている。他の審議会との重複や、半数程度の女性委員の起用等で調整中である。

問 計画、地域要望等にはどのように関わるのか。

市長 予算、総合計画は中間(素案)段階で審議願、地区要望は、あくまで区長会等自治組織中心で進めていくこととする。

問 「京都エコエネルギープロジェクト」は府が主体、市としても特色あるまちづくりの戦略として真剣に取り組むべきと思うが。

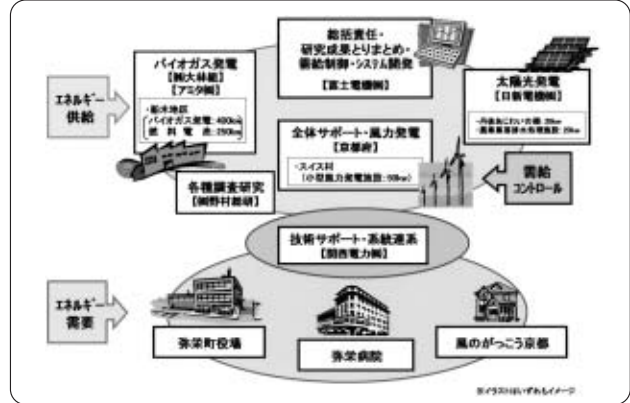
市長 恵まれた自然や産業と連携させた「環

問 環境型農業やカーニガラ・生ゴミ堆肥化等未利用資源の活用についても組み込めるのか。

市長 生活環境部、農林部等関係部課連携して総合的な環境・観光のプロジェクトとして具現化を図りたい。

問 「なんでも聞きます市民の声」行政懇談会や職員からナマの声を聞いて改善するよう。

市長 同感であり対処する。



京都エコエネルギープロジェクト体制図



いそがれる防災計画

問 いざというときの「いざ」を考えずに早急に防災計画の策定を。市長 ▼ 今回の被害状況をしっかりと把握し、最重要課題として早急に策定をしたい。

問 備蓄倉庫の資材の補給はしたのか。総務部長 ▼ 他県の災害



緊急課題の防災計画は

市長 ▼ 最重要課題で取り組む

原 久 読

応援物資としたので不足状態である。早急に調査し、適正な在庫を検討し対処する。

問 なぜ、総合検診の申し込み方法が変わったのか。保健福祉部長 ▼ 個人のプライバシーを守るた

めに申し込み方法を変更した。

問 本年度の受診状況は。保健福祉部長 ▼ すべての町が終わっていないが、例年どおりの受診率である。

問 市の保健事業の充実とわかりやすい広報

そして受診率の向上を望む。

市長 ▼ 検診の事後指導方法や検診促進になるような保健施策をしっかりと考えて行く。

問 年々増加する不登校の原因は何であると分析しているのか。教育長 ▼ 学校や家庭のあり方、青少年を取り巻く環境の悪化などが複雑に絡み合っている原因となっている。

問 家庭や地域社会の教育力の低下が原因で

はないか。教育長 ▼ 大きな原因の一つであると考えているが、学校としてそこまでは指導できない。

問 教育の規制緩和で、最近の教育環境の激変をどのように考えるか。教育長 ▼ 国の教育施策は間違っているとは思われないが、地域の特色が活かせるような教育施策を実施していきたい。

問 水洗化という公共サービスに対する、市民の負担はどうあるべきか。市長 ▼ 公平が大原則だ。浄化槽区域の市民は、光熱費を負担しなければならぬのに、集合処理区域では、光熱費の負担がない。

事業は違うが、結果として市民が受ける水洗化という公共サービスの負担が、異なるのは公平と言えるのか。市長 ▼ 大変重要な点だ。公平を完全無欠に求めると、たしかに公平とは言えない。浄化槽区域は料金が同じで、電

気代が余計にかかっている。さまざまな経緯や扱いの中で、今の状態になっていると思うが、いずれ水洗化計画を見直すなかで、料金のあり方も、当然検討が必要だ。

自立した地域自治の確立を

問 市民局に単費事業の箇所付けや、補助金決定の権限を与え、市民局長を市長代理とし、事務の簡略化を図るべきではないか。市長 ▼ 市民局の存在は大変重要だ。市民局の機能が、旧町域で根付いていく取り組みをしないといけない。その上で、市全体の適切性を保ち、裁量を持つてもらう工夫も必要だ。行政改革テーマのひとつとして、市民局も含

めた、組織のありようを十分検討したい。

問 早急に地域振興協議会を立ち上げる必要があるが、その設立時期は。市長 ▼ 今、人選中で10月初旬には、必ず立ち上げたい。

問 地域パートナーは、どんな役割で、いつ配置するのか。市長 ▼ 地域パートナーは、地域振興協議会を担当する事務局的な職員である。



地域総出で地域力の向上を！



市設置の浄化槽の下水道料金は不公平だ

市長 ▼ 水洗化計画の中で検討する

森口 亨 議員



豊かな自然を未来に

エコタウンの推進を

問 当市における環境政策が不明確であるが、具体的な施策をどう進めるのか。市長 ▼ 総合計画審議会の中で、循環型社会の構築をテーマとして、来年度には確かなもの

を示す。

教育の課題は

問 教育は、当市の将来を決する最重要課題であると思うが、基本理念は。市長 ▼ 教育は、国の礎。学力、豊かな情操教育、また個性を育てること

が大事。青少年の振舞いは、大人社会の裏返しである。謙虚に受けとめ、子供の可能性を信じる教育を。

問 不登校問題の現状とスクールカウンセラー導入の評価は。教育長 ▼ 人数は横ばいである。市の単費での

施策もあり、明るさを増している。府に小学校の導入も要望中。

問 不登校生徒の「教育を受ける権利」を守るため、フリースクール等の取り組みを行政の中で、サポートすることが大事だと思うが。教育長 ▼ いろいろの課題があり大変である。

問 発達障害者の社会認識が変わってきているが、教育における支援は。教育長 ▼ 教職員の研修

等は大きく進んだが、支援体制としては不十分な点もある。

問 10月から施行される改正児童虐待防止法の留意点は。教育長 ▼ 個人情報保護との関連もあり、関係者の意見を伺う。

問 文化芸術振興基本法の中にもある、子供の学校芸術鑑賞会が減っているが。教育長 ▼ 大事な視点である。現実にとって取り組む。



教育は最重要課題と思うが

市長 ▼ 子供の可能性を信じる教育を

松本 聖司 読

問 NPO（民間非営利組織）は、市民が自由に行う社会貢献活動である。本市でも法人を設立しようとする団体の動きが見られるので、行政として次のようなことが出来ないか。①NPOを広く一般市民が理解できるように

啓蒙啓発に努める。②法人の事務所として、公共施設の空部屋を開放する。③活動資金を有利な条件で貸し付ける。④多くの自治体で行っているような支援策について本市でも考えてはどうか。

市長 ▼ NPO活動を総合的に支援していきたい。NPOがどんな活動化していく中で、京丹後市の施策を委託することがあってもいいと思うし、協働できるようなことを目指しながら検討していきたい。

問 最近、青少年の犯罪は、凶悪極まりないものが多く、世間に大きな衝撃を与えている。①このような世相に關してどのように感じるか。②学校教育で、心の教育をどのように行っているか。③子供や親に対する指導や相談についてはど

うか。④学校、家庭、地域の強力なネットワークのもとに、大人も子供も取り込んだ心の教育に努めてはどうか。教育長 ▼ 子供は学校だけでは育たない。家庭や地域で育てていただくことが基本だということを理解していただくように、社会教育の分野で提起してきている。今後も引き続きお願いしていきたい。



学校・家庭・地域のネットワークを（五箇小学校）



NPO法人の活性化対策を

市長 ▼ 総合的な支援を検討したい

高山 充男 議員

大人と子供の心の教育を



望まれる街灯維持管理支援

問 市民局等8箇所に
ご意見箱を設置した
が、庁舎内であるため
投函しにくい。屋外に
設置し多くの市民が投
函しやすくすべき。
市長 約1カ月でご意
見箱利用は15件。今後
工夫を加え前向きに検
討する。

問 防犯灯整備がまだ
まだ不十分。通勤・通
学者にとって夜間の事
故防止や事件等防犯対
策の大きな役割を持つ。
増設整備計画は大きな
課題と考えるが。
市長 安全・安心・活
気ある街づくりに欠か
せない重要な施策。防

犯灯増設計画を前向き
に取り組みたい。
問 市内全防犯灯の電
気代の76%を区が負担
また街路灯は区と商工
団体等が全額負担して
いる。今後、各団体が
その負担に耐え、防犯
灯・街路灯の維持管理
が継続できるのか懸念
がある。

する。倍増計画も進ま
ない。安全対策は本来
行政施策。今後、区・団
体への電気代等の支援
対策が必要だと考える。
市長 部内調整を行い、
電気代等支援対策を講
じる。

問 豊岡病院の精神科
病棟が65床に縮小され
る。増え続ける患者へ
の支援策として市立病
院に外来・入院の開設
あるいは与謝の海病院
への入院開設を要望す
べきと思うが。
市長 大切な課題、今
後、医療・保健等の審
議会を連携させ早急に
検討し、与謝の海病院
へは引き続き強く要望
する。

問 二つの市民病院の
運営状況から、独立採
算の枠内で結論を得よ
うとすれば、規模縮小
や廃止の方向になりか
ねない。しかし地域医
療や保健衛生・福祉対
策に大きな影響を与え
る。病院対策と包括医
療への考えは。

市長 市民病院は保健
など総合的な面で中心
的な役割を担う重要な
柱である。また、包括
医療は今後さまざまな
分野での検討が必要だ。
問 病院の経営者会議
に市長も参加すべきだ
が。
市長 審議会の答申を

参考にしなが、私も
一体となり進めていく。
問 二病院の連携と独
自性を出すための対策
は。
助役 薬剤の仕入面な
どで連携や独自性を出
す。審議会の重要課題
である。
問 ジェネリック薬の

使用は患者の負担軽減
のみでなく、国保会計
にも影響がある。もっ
と進めるべきだが。
市長 さまざまな問題
があり審議会の中で検
討する。
問 国からの交付税算
定分の全てが病院会計
に予算化されていないが、
医療事業部長 今後の
推移を見ながら対応す
る。

部の配置の再編
問 新市に「行政の過
疎地」を作らないため、
久美浜や丹後・弥栄に
も部を設置してはどう
か。例えば、農業先進
地である久美浜に農林
部とか、弥栄に保健福
祉部のように地域の特
性を考えた配置での対
応は。
市長 軽々に語ること
ではないが、業務の集
中や分散など柔軟な考
えて、地域住民の不安
を払拭するため、さま
ざまな構想を幅広く考
えたい。



市民の期待が高まる久美浜病院

病院対策と包括医療は

谷口 正博 議員

市長 市民病院は医療・保健の重要な柱



まだまだ若い（新治区のみなさん）

問 地域再生の時代。
地域の特性を活かし、
わけへだてなく市民か
らの要望や意見を集約
し、新しい施策に反映
させていく各審議会の
果たす役割は重要であ
る。
特に、女性委員の多
様な選考、住民である

定住外国人の方々の権
利など、どのように考
えているか。
市長 土台となるのは
生活に密着した産業、
社会の振興と活性化で
ある。この意味で女性
の目線は、審議して頂
く時に、非常に大事に
なる。新規の審議会は

男性委員50%、女性委
員50%を積極的に目標
にしたい。
定住外国人の方々に
ついては、参政権の確
保が図られるべきであ
る。これは私の政治信
念である。同じ住民で
あり税金を払い、地域
に貢献しておられる。

介護予防対策について
問 介護保険制度の見
直しは、予防に力を置
くという視点が重要に
なる。
運動不足などによる

生活機能の低下が大き
な原因となり、軽度の
要介護認定者数が急増
し重度化が進んでいる。
高齢者の体力回復に、
筋力トレーニング事業
を取り入れてはどうか。
市長 高齢者は市の宝。
介護予防は、高齢者が
より元気になって頂く
ための施策として、ぜ
ひとも推進すべき事業
である。充分に考慮し
事業計画の見直しをし
ていきたい。



**住民である
定住外国人の権利は**
市長 参政権を求め特区申請したい

池部 皓三 議員

市では市長・市会議
員選挙について選挙権
を強く求めていきたい。
11月の特区申請の中に
ぜひとも京丹後市にお
ける参政権の確保を、
提案させて頂きたいと
決意している。

市では市長・市会議
員選挙について選挙権
を強く求めていきたい。
11月の特区申請の中に
ぜひとも京丹後市にお
ける参政権の確保を、
提案させて頂きたいと
決意している。

市立病院について
問 合併で病院がどう
なるか。住民は大変心
配している。市立病院
に対する市長の基本的
な考えは。
市長 市の医療体制の
中で大変重要な位置を
占めている病院である。

市の医療行政、安心安
全でかつ質の高い形を
どう高めていくかとい
う観点から、医療対策
審議会を早急に立ち上
げて真剣な検討をして
いきたい。
問 今年度の一般会計
からの繰り出し金は、
久美浜病院が1億9千

万円、弥栄病院が2億
6千万円。これは交付
税で措置されたままの
額か。久美浜病院の場
合、これまで町が繰り
出してきた額と比べ、
かなり少ない。昨年は
2億2千万円。繰り入
れ基準額と比べると8
千万円余り少ない。ぜ

ひ今後の補正で財政的
援助をいただきたい。
市長 久美浜病院の場
合、常勤の医師の確保
ができたということで、
医療サービスの提供体
制が安定してきた状況
も踏まえ、経営状況は
去年に比べ改善傾向に
ある。ただ、現状の繰
入額については、検討
が必要である。病院側
からも話を聞いて適切
な対応をしたい。

教育問題について
問 就学援助費を申請
するとき民生委員の印
があるが、申請権は形
式的・手続的なもので
あり、申請にハード
ルを設けるべきではな
い。
教育長 どうしてもそ
のことができない方に
ついては、その条件が
なければ適用させない
ということはやつてき
ていない。



市の医療体制の要 久美浜病院

市長 適切な対応をしたい

松田 成溪 議員

市立病院への財政援助を

ひ今後の補正で財政的
援助をいただきたい。
市長 久美浜病院の場
合、常勤の医師の確保
ができたということで、
医療サービスの提供体
制が安定してきた状況
も踏まえ、経営状況は
去年に比べ改善傾向に
ある。ただ、現状の繰
入額については、検討
が必要である。病院側
からも話を聞いて適切
な対応をしたい。

教育問題について
問 就学援助費を申請
するとき民生委員の印
があるが、申請権は形
式的・手続的なもので
あり、申請にハード
ルを設けるべきではな
い。
教育長 どうしてもそ
のことができない方に
ついては、その条件が
なければ適用させない
ということはやつてき
ていない。



急がれる生活路線整備 (網野町三津)

問 道路は公道である。誰もが利益を受ける道路改良に受益負担がいくことはいかか。近隣4市(宮津・舞鶴・福知山・綾部)は負担がない。財政困難な地区は改良できない。改正は、市長▼道路は広く市民に開かれている。合併

協議で調整された形で進めていくのが合理的だと思ふ。具体的に出がれば検討する。**問** 本年4月、丹後6町社協が合併し「京丹後市社会福祉協議会」が誕生した。市と社協、さらに福祉事務所との受託連携

は順調か。**市長**▼信頼できる体制に敬意を表したい。民間の核となる組織で連携を深めたい。**保健福祉部長**▼社協の窓口として常に連携、また理事としても参加している。**問** 「地域福祉推進事業」

は社協の根幹をなす事業であるが続けての支援は。**市長**▼財政的支援をしたい。**問** 道路封鎖が起きて2年半、緊急時の道路確保は喫緊の課題。地区で解決できない問題は行政指導で。**市長**▼現地を承知して、誠心誠意話し合い関与する。**問** 民家の周辺空き地に残土が積み、生活環境が変わり、良好な環

境維持ができない場合、京丹後市開発条例で違法開発は防げないか。**市長**▼堆積土砂は取り除くことで合意した。**問** 6町合わせた税・料滞納額は8億円、半年経過してさらに増えて10億円にも達するといふ。今後の徴収努力と組織体制構築は。**市長**▼あつてはならない由々しきこと。全力を挙げて徴収に努める。法的差し押さえ等厳しい対応をする。



道路工事、受益者分担金の見直しはできないか

浅田 武夫 読

市長▼合併協議の意見を尊重する

環境維持ができない場合、京丹後市開発条例で違法開発は防げないか。**市長**▼堆積土砂は取り除くことで合意した。

問 先の8月21、22日に開催された「第16回星空の街・あおぞらの街」全国大会は、郷土の環境を活かした地域おこしの推進と、大気環境保全意義の高揚を目的とし、環境立市として位置づけしなればならないと思うが市

長の思いは。**市長**▼今回の大会を一度性のイベントとして終わりにしてしまおうのでなく、地球温暖化防止と循環型社会の構築という、2つの大きな課題を市民の皆様にご覧に認知していただいた契機としてとらえ、国や京

都府の連携のもとで京丹後市を環境行政先進地とするべく、精力的に取り組んでいきたい。**問** 弥栄町が始まっている「京都エコエネルギープロジェクト」の安全性と経済効果は。**生活環境部長**▼NEDの事業として認知され、

建設企業が経験と技術、そして十分な安全対策を講じている。**市長**▼エコツーリズム等の観光面、環境教育や学習面、又、地域産業おこし、資源の有効活用面で京丹後市を振興していきたい。

公共施設の耐震性は**問** 紀伊半島沖と東海道沖で地震が起きたが、京丹後市の災害マニュアルは。また、各地域の避難場所は学校、公



地震・災害にだいじょうぶか体育館



避難場所の公共施設の耐震性は

市長▼早急にやらなければならないと思う

川浪 将義 議

建設企業が経験と技術、そして十分な安全対策を講じている。**市長**▼エコツーリズム等の観光面、環境教育や学習面、又、地域産業おこし、資源の有効活用面で京丹後市を振興していきたい。

民館等公共施設を指定しているが耐震基準はクリアしているのか。**市長**▼防災計画は早急に仕上げる必要はないが、旧町のものを引き継ぎながら、今年度中に原案を仕上げたい。

避難場所の公共施設の耐震検査はすべてはできていないが、市民の生命や財産を守るためにも、早急にやらなければならないと思っ



交番化される網野・久美浜警察署

問 平成17年度より警察署等の再編・整備があるようだが、現在京丹後市には、峰山・久美浜・網野警察署と21の駐在所がある。これらは、再編によって、警察署が京丹後警察署となり、久美浜・網野警察署は廃止され、「わ

がまちの交番化」となる。駐在所は当分の間は現行のままのようだが、京丹後市の治安維持のために、警察官の大幅削減としないように、府へ要望願したいが、市長の考えは。**市長**▼市民の皆さんが

市民局の機能拡充は**問** 地域住民の要望等が早急に対応できるよ

うに、市民局裁量で、使用可能な事業費等が、来年度予算から措置できないものか。**市長**▼市民局の機能を一層充実していく上では、重要な検討課題であると思う。

予算の件を含めて、どの位の裁量か市政全体の観点から考慮しながら検討したい。**教育予算の充実****問** 教育費には、次代を担う子どもたちを育



警察署等の再編整備で市の治安は守れるか

市長▼警察署と連携をとりながら進めていきたい

松本 信之 議

に、市民局裁量で、使用可能な事業費等が、来年度予算から措置できないものか。**市長**▼市民局の機能を一層充実していく上では、重要な検討課題であると思う。

予算の件を含めて、どの位の裁量か市政全体の観点から考慮しながら検討したい。

問 市民の生活は一層厳しくなってきたおり、市も生活保護世帯がさらに増えるといっている。必要ならば行政として支援、補助もしていく。考えていくのか。**市長**▼そういう人達をみんなで支えるしくみをつくり、自分の力で

立ち上がれるようにしていくことが大切と考えている。そのうえで必要ならば行政として支援、補助もしていく。考えていくのか。**市長**▼そういう人達をみんなで支えるしくみをつくり、自分の力で

いくことが大事だ。市の窓口対応の中で、人権侵害、職権乱用と考えるようなことが起きていく。生活保護申請の中で、長期にわたり放置され、府に審査請求を出している人がいるが市長は知っているか。

市長▼先日知ったが詳細は知らない。**問** 国保税(市民税)の減免申請で違法、不当と思える同意書(世帯全員の収入、預金、資産、生保、勤務先への問合せ等行ってもよい)を求めているが、その法的根拠は何なのか。撤回すべきだ。**市長**▼税法の質問検査権に基づいて調査はできると考えている。特に人権に配慮しながらやっている。

問 まったく間違った法解釈だ。同意書や他の添付書類の要求は、市民の人権に対する配慮が欠けている。**問** 鉾子山古墳整備の進捗状況は。**建設部長**▼整備の一環として進入道路拡幅を調査中。



こんな同意書が必要です



低所得者(弱者)層への支援対策は

市長▼自立できるよう支援していきたい

森 勝 議

市長▼先日知ったが詳細は知らない。**問** 国保税(市民税)の減免申請で違法、不当と思える同意書(世帯全員の収入、預金、資産、生保、勤務先への問合せ等行ってもよい)を求めているが、その法的根拠は何なのか。撤回すべきだ。**市長**▼税法の質問検査権に基づいて調査はできると考えている。特に人権に配慮しながらやっている。

問 まったく間違った法解釈だ。同意書や他の添付書類の要求は、市民の人権に対する配慮が欠けている。**問** 鉾子山古墳整備の進捗状況は。**建設部長**▼整備の一環として進入道路拡幅を調査中。

市長▼鉾子山古墳は市でちゃんと整備していきたい。



市農業振興策を問う

市長 ▼ 売れる米作りを支援する

野村 重嘉 議員

環境に配慮した京野菜の推進や担い手支援策等を、積極的に取り組んでいく。

9月30日の契約の期日までに土地売り渡し代金決済を求めて最後の努力をしている。

米集荷円滑化対策

問 全国の米の作柄と生育の状況は、ほとんどの地域が平年並み、またはそれ以上で豊作になる可能性がある。推定需要量の859万トン、15万トン程度

上回る予想となった。本市の過剰米対策は、農林部長 ▼ 全国の作況指数101以上、京都府も101以上で発動される。この場合公平性が保てるようにしたい。

問 新たな米政策は、売れる米作り・産地作り・担い手の育成が問

われている。なかでも京野菜の信頼性を高めるため「京都こだわり生産認証システム」が導入され、紫ずきんを第1号として、販売に力をいれている。市長の考えは、

問 9月30日の土地売却契約代金決済期日が迫っている。6月議会以降の動きを問う。



集団栽培の黒大豆団地（久美浜町）

市長 ▼ NPO法人の川上氏・くめ納豆の石塚社長とも面談しお願いをしているが大変厳しい状況にある。

問 久美浜病院が抱えている問題と久美浜病院を中心とした包括医療体制を問う。



市内全域に幼稚園を（網野幼稚園）



網野町のちりめん祭りを一大イベントに

奥野 重治 議員

市長 ▼ 大々的に取り上げていく

問 多面的・一体的観光立市を目指すために、絹織物との連携が必要と考えるなら、網野町のちりめん祭りを京丹後市挙げての一大イベントにしてはどうか。

市長 ▼ 「全国きものサミット」を来年丹後でと考えているので、これと併設しながら着物、ちりめんを大々的に扱い、物づくりの士気を上げる機会としていく。

問 全ての会議を公開し、傍聴を許可すると、出席した委員やメンバーが緊張し発言が少なくなり、本来の審議するというのが達成されないのではないか。

問 網野・峰山間の府道整備は長年の願いだが、

問 久美浜シルバーハウスの公募条件が途中で変更され、無償譲渡付契約となっているが、

島根県・仁多町の農業振興の取り組み

先進地視察報告

産業環境常任委員会

- ① 仁多米、菌床椎茸、仁多牛などの特産品育成の経緯と取り組み
- ② 第3セクターによるカントリーエレベーターの取り組み
- ③ 土づくりによる循環型農業推進と課題

一町の概況

仁多町は、過疎化が進む人口8,700人の小さな町であるが、肥沃な土地に恵まれ、良質米と和牛の産地として全国にその名が知られている。町の面積は、179km²と広いが、林野が84%を占め、農地は960km²で、行政主導による農業振興が図られ、「仁多米」・「仁多牛」・「菌床椎茸」を中心としたブランド化が進んでいる。

仁多米の育成とブランド化

平 成10年、隣町と2億円の共同出資で、「奥出雲仁多米株式会社」を設立、「出雲国仁多米」として、全国向けに独自販売を開始した。



地元雇用にも一役ブランド椎茸の出荷

乾燥調整貯蔵施設」を完成させた。町が100%出資の第3セクター方式で運営され、自主検査設備、乾燥設備、初のみ年間貯蔵の設備、「今摺米」の精米設備をもち、一貫して差別化した良質米の産直体制・独自販売を支えている。

さらに、担い手対策として、集落営農を核とした法人化も進めている。行政が市場価格との差額を補填し、最低1俵2万円を保障している一方、販売促進にあたっては、有名百貨店・ギフト販売・高級スーパーなどの高級米市場にターゲットを絞った積極的な営業展開で1ヶ7000円で販売し、仁多米のブランド化は着実に成果をあげている。

菌床椎茸のブランド化

菌 床椎茸も、昭和61年から、コナラやクヌギなどの広葉樹のホダ木栽培に取り組み、現在では、町100%出資の「有有限会社奥出雲椎茸」が中心となつてブランド化している。ここでは、原料供給から販売までの一貫システムが確立しており、「オガコセンター」で原木をチップ化し、「ホダ木センター」で椎茸菌の仕込み培養を行い、生産農家に供給している。

そして、年間を通じて毎日収穫されている椎茸は、生産農家からの買い取り方式で、「奥出雲椎茸集出荷センター」に集め、12の等級に自動選別され、品質や大きさ、量などの受注のニーズに合わせて60のアイテムに選別・パックされる。

視察所見

仁多町の場合、第3セクターといっても差別化した商品のブランド化を維持しながら販売を広げ、利益をあげていくことが求められている。そのために販売・商品化の現場に工夫が要求され、権限と責任が与えられ、その上に生産から販売までの一貫システムが確立されており、農家は生産に集中し、良いものをつくることに徹し、ブランド力を高めている。

新市議会に
望む!!

市民の

声

新市になって



弥栄町黒部 山副 綾乃(51)

京丹後市になって6ヵ月過ぎた。良くなったこともあるが、困ることもたくさんある。保育料や水道料の値上げは、正直言って私たち家計を預かる女性にはこたえる。女性の声をもっと議会へ反映させてほしい。

市議会は、私にとってもちよつと近寄り難いと感じている。旧町の時は、議会傍聴も出かけたけれど、新市には、市民として足が延びない。しかし、「何がどこでどう決まるのか、私たちに、わからない。」...と言っていたのでは市民として無責任だと思い、議会だよりや市からのお知らせ等に、できるだけ目をおすようにしている。議員には、議会でのことを、市民にもっともとと知らせてほしい。

みんなでがんばる!
私もがんばる!

息吹

リーダー訪問



1986年、大宮町のパンキンフェスティバルは、国営造成畑の新たな農業経営を支援し、農業者も観光や遊び心もチヨピリ合せ持った経営を、目指そうとの思いから始まったのだそうです。当時、大宮町は村おこし事業の一環として、町・



大宮パンキンフェスティバルの仕掛人
坂根さん(右)、現実行委員長大木さん(左)

農協・商工会が資金と労力を出し合って、人材育成塾「羽ばたく若者大宮の会」(略称「JOY」)を創って、意欲ある人材育成に取り組んでいました。坂根潤一郎さんは、フェスタが始まった当時から主催のJOY事務局として参画され、JOY主催から常吉村営百貨店主催に移行しても、なおフェスタを支えている重要なスタッフの一人です。現在の実行組織「常吉村づくり委員会」と「村営百貨店」は、村づくり実践優良事例で農林水産大臣賞を受賞された元気印の集団です。

中でも代表の大木満和さんは、常に前向き人間! 「パンキンフェスタは常吉地域の活性化事業の一環として行ってきたが、合併して大きな地域の農業と

観光の活性化イベントとして、来年度以降は、さらに大きく飛躍させたい。」と意欲的。

農林漁業の体験型観光にニーズが高まる中で、苗から栽培して重量を競う合う「パンキンフェスタ」の原点が今にピッタリかも知れませんね。

(取材/広報委員 松本信)

よとぎ

台風連続上陸により、大きな被害がもたらされ、市民生活への影響が出ています。

特に23号台風では、3名の命が奪われるなど最悪の状況となつています。心よりご冥福をお祈りいたします。

また、家屋の倒壊、床上・床下浸水など多数の被害があり、「災害救助法」が適用されましたが、1日も早い復旧を望むものです。

市の防災計画は、

まだ検討段階にあり、今回の教訓を生かして、早急な策定が求められます。

9月議会は、旧6町最後の決算審査や、初回到続く29人の一般質問など活発な議論が行われました。

紙面の都合で、その一部しか掲載できませんでしたが、ご一読に感謝し、ぜひご意見をお寄せいただければ幸いです。

(広報編集委員会)